



第13回 「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2021年3月14日

小樽観光大学校

*合格発表は下記のホームページでご確認できます。
*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。
(制限時間90分)

問1

JTBの造語で観光種類を表す「るるぶ」の意味で違うのは次のどれでしょうか。

1. 見る
2. 食べる
3. 生きる
4. 遊ぶ

問2

港湾商業で発展した小樽でしたが、昭和50年代の小樽経済界にとって観光に舵を切るには大きく2つのギャップがありました。一つは植民地経済とされた「観光地になるほど落ちぶれていない」ともう一つは次のどれでしょうか。

1. 交通渋滞が起きて困る
2. ゴミを散らかして迷惑だ
3. 常識をわきまえなくて困る
4. 待って小金を稼ぐのは合わない

問3

昭和50年代の日本で、一般的に「観光」が当たり前になった背景で異なるのは次のどれでしょうか。

1. ITの浸透で観光情報が増えた
2. 蓄財も可能な経済状態になった
3. 再発見の動機が喚起された
4. 公共交通が整備された

問4

1970年創刊『an・an』や1971年創刊『non-no』によって観光の主役に躍り出たのは次のどれでしょうか。

1. 富裕層
2. ファミリー層
3. 若者層
4. 女性層

問5

昭和53(1978)年は小樽運河保存運動として様々な活動が起きた年でした。この年のできごとで違うのは次のどれでしょうか。

1. ポートフェスティバルの初開催
2. 小樽夢の街づくり実行委員会発足
3. 小樽運河研究講座開催
4. 小樽運河百人委員会発足

問6

小樽運河保存運動の主張として違うのは次のどれでしょうか。

1. まちと共に生きる新たな価値観を提起
2. 同じ道内で函館には負けない闘志を提起
3. 水辺と歴史的環境を生かしたまちづくりの対案を提起
4. 地域文化を資源にした新たな観光経済を提起

問7

小樽が観光都市に生まれ変わるきっかけの出来事で違うのは次のどれでしょうか。

1. テレビドラマ「北の国から」の放映
2. 石蔵再利用の「叫児楼」開店
3. 山田洋次監督映画『男はつらいよ 寅次郎相合い傘』放映
4. テレビドラマ「倉本聰原作『幻の街』放映

問8

小樽の「銀行街」が観光拠点となる土壌を耕したまちづくり運動は次のどれでしょうか。

1. 小樽フロンティア21
2. 小樽ウィンターフェスティバル
3. 小樽雪あかりの路
4. サマーフェスティバル

問9

「小樽雪あかりの路」の日本人学生ボランティアグループの名前は次のどれでしょうか。

1. OKOVO
2. eVOL
3. 緑の会
4. 橙

問10

「小樽雪あかりの路」の現在の実行委員長は次の中の誰でしょうか。

1. 西條文雪
2. 佐藤公亮
3. 中村全博
4. 山口 保

問11

次の中で「小樽雪あかりの路」の「メイン会場」でないものはどれでしょうか。

1. 朝里川温泉会場
2. 運河会場
3. 手宮線会場
4. 天狗山会場

問12

「小樽雪あかりの路」では雪と灯りの造作物の総体を何と呼ぶでしょうか。次の中から選びなさい。

1. 雪 像
2. アイスキャンドル
3. 雪行燈
4. オブジェ

問13

当初「小樽雪あかりの路」を計画した団体は次のどれでしょうか。

1. 小樽商工会議
2. 小樽観光誘致促進協議会
3. 小樽観光協会
4. 小樽物産協会

問14

「小樽雪あかりの路」のろうそくはどこで作られているでしょうか。次の中から選びなさい。

1. フジ本 芳川商会
2. ペガサスキャンドル
3. カメヤマローソク
4. 極東高分子

問15

「小樽雪あかりの路」で毎回市内30～40カ所に広がる地域や団体運営の会場の名称は何でしょうか。次の中から選びなさい。

1. あかりの路会場
2. 準メイン会場
3. プチあかり会場
4. サテライト会場

問16

今年2月の「小樽雪あかりの路」はやむなく中止になりました。今回は第何回目だったでしょうか。次の中から選びなさい。

1. 第20回
2. 第21回
3. 第22回
4. 第23回

問17

浅草通りの旧手宮線から色内大通り交差点までの区間で、浅草通りに面している小樽市指定歴史的建造物、市指定有形文化財の時代別数で正しいのは次のどれでしょうか。

1. 明治期2棟・大正期3棟・昭和期1棟
2. 明治期3棟・大正期2棟・昭和期2棟
3. 明治期3棟・大正期3棟・昭和期1棟
4. 明治期2棟・大正期4棟

問18

小樽市内にある日本遺産構成文化財を解説しています。該当する建物名は次のどれでしょうか。

「この建物は現在の石川県加賀市出身の北前船主が建てた倉庫です。明治22年建設で越屋根が特徴です。現存する倉庫では小樽で最古といわれています。」

1. 旧大家倉庫
2. 旧小樽倉庫
3. 旧広海倉庫
4. 旧右近倉庫

問19

2020年、北運河に係留されていた舳が老朽化のため撤去されました。小樽運河で活躍した舳ですが、最盛期にはどのくらいあったでしょうか。

1. 約300隻
2. 約400隻
3. 約500隻
4. 約600隻

問20

小樽市内のある坂に立ち、ガイドしています。この坂の名前は次のどれでしょうか。

「この旧板谷邸は1926年(大正15)年～1927年(昭和2)にかけて建築されます。現在は、和風の母屋と洋館、石蔵が残され、宿泊施設として再活用されています。この坂は別名出世坂ともいわれています。それは海運業での成功者が水天宮の海側に居を構えるようになるからです。板谷宮吉、高橋直治、名取高三郎らが代表例です。」

1. 外人坂
2. 見晴らし坂
3. 三本木急坂
4. 団子坂

記述式問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい。(簡条書きは不可)

1. 現在の小樽観光の最重要問題点を3つ挙げ(1番～3番まで順位をつける)、その理由を簡潔に書きなさい。

<まちづくり観光論より>

2. 「小樽雪あかりの路」はろうそくの灯りによって何を照らしだそうと意図しているのかを2つ書きなさい。

<観光資源論より>

総合記述問題

次の設問に600字以上800字以内の文章で述べなさい。(簡条書きは不可)

小樽市は地域型の日本遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都」の認定を目指し申請していましたが、令和2年6月、残念ながら認定には至りませんでした。しかし、37件の構成文化財は「小樽文化遺産」でもあり、今後、地域の観光振興の活性化に繋げていくものと思われます。このストーリーは4つに構成されており、その一つに【港と鉄道の「大動脈」によるゴールドラッシュ】があります。このテーマで散策ガイドを依頼されたとき、あなたはどのようなストーリーをつくりガイド内容を組み立てますか。

下記のストーリーを参考にし、構成文化財を交えて書きなさい。

*歩く地区と構成文化財を明記すること。

*実際に散策が可能な内容であること。

【港と鉄道の「大動脈」によるゴールドラッシュ】のストーリー

江戸時代後期から小樽周辺は、「無比のニシン漁場」となり、祝津地区のニシン漁を担った親方や漁夫たちの番屋(茨木家中出張番屋など)がその栄華をいまに伝えています。明治2(1869)年に商船の航行が自由になると急増した移民の暮らしを支えるため小樽に「北前船」が往来し、北浜、有幌地区に物資を保管するため、石造りの倉庫群が建てられました。

明治15(1882)年には、内陸部で算出する石炭輸送のため北海道初の鉄道が開通し、手宮には石炭積み出しや鉄道関連施設が造られました。港と鉄道の「大動脈」により、大量の物資や仕事を求める人々が殺到し、ゴールドラッシュさながらの活況が出現しました。市街には商店・問屋街が、海岸線沿いには倉庫群が建ち並び、料亭が社交場として賑わいました。これらの多くは現存し、未来の成功を夢見て小樽にやってきた漁夫や商人、船乗り、荷物を担いだ仲仕たちの声がいまも通りにから聞こえてくるようです。

■構成文化財の一例

祝津のニシン漁場建築群、旧田中家住宅、旧青山家別邸、北浜地区倉庫群、南浜地区倉庫群、旧手宮鉄道施設、小樽市総合博物館所蔵鉄道車両群、色内通り・堺町通りの商店、繁栄期の料亭・ホテル建築群など

<参考資料>

【全体ストーリー概要】

市街地の背後に位置する天狗山からまちを一望すると、小樽の港とその周辺に広がる市街地全体を見渡すことができます。このまちで青春時代を過ごした小林多喜二は、小樽を「街並が山腹に階段形に這い上がった港街で、広大な北海道の奥地から集まってきた物産が、そこから又内地(本州)へ出て行く謂わば北海道の『心臓』みたいな都会である」と表現しました。現在も往時の姿を偲ばせている小樽の独特の建物とまちなみは、明治以降、物産とともに各地から押し寄せた多種多様な人々の「民の力」によって創られました。

●4つの構成毎のテーマ

【港と鉄道の「大動脈」によるゴールドラッシュ】

【経済の「血液」金融が生んだ北日本随一の都市】

【運河保存運動から観光都市へ・「民の力」による再生】

【歴史を活かすまち・小樽の新たな鼓動】

*資料：小樽市ホームページ「小樽文化遺産ポータル」より転載